

# 令和5年度 府中市立四谷小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

## 第2学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	①拗音、促音や助詞を正しく使いながら、順序に気を付けて書くこと。 ②音読を通して、内容の理解を深めること。 ③順序に気を付けながら、内容の大体を読み取ること。	①読書や作文、言葉のおもしろさを楽しむ活動を通して、文字を覚え、読む力、正しく書く力を育てる。 ②音読にバリエーションをもたせ、考える活動を通して、論理が身に付くよう指導する。 ③主語、述語、事柄や時間的な順序を表す言葉などに着目することを通して、内容の大体を読み取る力を付ける。		
算数	①加法・減法、乗法の計算を正確に計算すること。 ②問題場면을把握し、問題の数量関係を読み取ること。 ③図形の基礎基本を身に付けること。	①加法・減法、乗法の計算の習熟を図る。 ②数とその表現や数量の関係に着目させ、具体物や絵、図などを使って数の表し方や計算の仕方を考えたり、問題場面をとらえたりすることで、考える力や自分の考えを表現する力を育てる。 ③具体物を見たり触れたりする体験的な活動を通して、図形を構成する要素や構成の仕方に気付かせ、理解を深める。		
生活	①人や自然と関わる活動の経験が限られ、十分な積み重ねができていない。 ②観察する視点をもって記録することが難しい。	①学校周辺の身近な自然に触れたり、身近な人々と主体的に交流したりすることを積極的に取り入れ、児童がもつ本来の興味・関心を引き出し、主体的に取り組む態度を育てるようにする。 ②観察したことを記録する際、「大きさ」「色」「形」「数」「匂い」「触った感じ」などの観察の観点を明確にさせる。		
音楽	①曲のよさや演奏の楽しさを見出しながら、演奏したり、聞いたりできるようにすること。 ②音楽表現をするための楽器および歌唱の技能を身に付けること。	①曲を聞いて感じたことを言葉にしたり、体で表現したりしながら、曲のよさを感じとる活動を取り入れる。 ①友達の演奏に耳を傾け、友達の演奏のよさを言葉にしたり、自分の演奏と友達の演奏を比較して演奏の仕方を工夫したりする活動を行う。 ②鍵盤ハーモニカの演奏の際、音階や指使い、タンギングなどを丁寧に繰り返し指導する。個々の必要に応じて、発展的な演奏に取り組みせたり、スモールステップで個別指導を取り入れたたりして、個別最適の活動が行えるようにする。		
図画工作	①制作した作品について、工夫したことを自分の言葉で表現すること。	①下書きの時間を十分に取ることで、じっくりと作品について考えることができるようにする。また、その際に、なぜそのような作品にしたのか自分の思いを書き出す。 ①普段からお互いの作品を鑑賞し合い、工夫したことなどについて共有する場面を設けることで、自分の思いが表現できるようにする。		
体育	①運動の仕方を理解し、基本的な技能を身に付けること。 ②自分に合った運動の課題やめあてをもち、運動方法を正しく選択できること。	①ICT 機器を有効に活用し、映像でお手本の動きを何度も視聴するなど、体のイメージをつかみやすくする。コオーディネーショントレーニングの運動を継続的に行う。 ②段階的に技能を習得できる場を設け、児童が自分に合った運動を選択できるようにする。		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。